

【4】山手地区を支える団体

◎山手地区町内連絡協議会

山手地区内11の町内会（公民館・自治会）の連絡調整機関として平成17年2月に結成され、町内相互の連絡、協調、親睦を図りながら、活力ある明るい地域づくりに努めています。

行政や学校などと連携しながら、地区住民の利益向上と、心のふれあう教育・文化及び福祉の充実に向けて、取り組んでいます。



◎民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員協議会の活動の中でも、児童部会では、小・中学校との連携を大切にしながら、地域の気になる子ども達を支援するよう努力しています。

放課後教室、健全育成、町内の子ども会の行事などへの参加は、子ども達のお世話をするというよりも、自分達の楽しみになっています。また、校区内の危険箇所・ストップマークの点検や貼り替えは、PTA・地域・子ども達、そして児童部会が共同で行う活動として大切に続けています。



◎名切町老友会～名切町老友会は不滅です～

毎月5日の朝10時から名切町老友会の月例会です。仕出し弁当とお茶で食事をしながら、政治、経済、スポーツの話題から出身地の風景の話まで、会員の会話が弾んでいます。

しかし、欠席のメンバーがいると、心配になります。「あの人はどがんしたと？」と真剣に隣人を心配し、心を痛め、世話を焼いてしまいます。こんなメンバーがいる限り、名切町は心豊かに暮らせる町として胸を張れます。



◎山手小学校PTA

山手小学校は、昭和14年4月に開校し、平成20年で創立70周年を迎えました。PTAは、これまで先輩方が築かれた伝統を受け継ぎ、地域の皆様のご協力をいただきながら活動しています。

全体行事のクリーンアップ大作戦やチャレンジランキング大会、学年行事、専門部会など、親と子どもがともに活動しながら成長するための魅力と活力ある活動を推進しています。



◎花園中学校PTA

創立51年目を迎え新たな一歩を踏み出した花園中学校PTAでは、地域の皆様のご協力をいただきながら、家庭と学校と社会における生徒の健全な成長を目指して、親子で一緒にできることを中心に活動しています。

今年度は、名切通りを中心にした「親子クリーン作戦」、名前と同じように“花いっぱい”の学校に”との願いを込めた「親子花植え大会」、親子で食育について考える講演会など、各部会において様々な行事を企画し、生徒の活動を支援しています。



【5】山手地区福祉対策推進協議会の紹介

どのような団体？

福祉対策推進協議会（略称：福対協）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めている組織です。

山手地区福対協は、昭和53年に設立され、地域住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員協議会、町内連絡協議会、婦人部、老人クラブ、PTA、小・中学校など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

福対協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

ふれあいネットワーク

ひとり暮らしの高齢者の方などが、地域で安心して暮らせるように、隣近所の方をはじめとした地域住民が中心となり、安否確認や話し相手などのために定期的に訪問しています。

福対協高齢者福祉部会

子どもからお年寄りまで、心豊かに安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域住民による声かけや見守りなどの自主的な活動を通して、防犯・防災及び事故防止に努めています。また、徘徊者の搜索・保護のためのネットワークづくりを展開しています。



福対協厚生部会（山手地区ふれあいいいきき祭）

2年間のモデル地区の指定を受け、平成17年度から始まったふれあいいいききサロン事業では、閉じこもりがちな高齢者の方などが気軽に出掛けて仲間づくりを行い、地域でいきいき暮らせることを目指して活動しています。指定期間が終了した平成19年度からは「ふれあいいいきき祭」を開催しており、平成21年3月1日の第2回には、カラオケ、踊り、詩吟などの11団体が出演しました。

この行事を通じて、地域の皆様が仲間の輪を広げ、安心して暮らせるまちづくりにつながることを目指しています。



これからは、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。